News Release

HITACHI
Inspire the Next

2012年8月1日
株式会社日立システムズ

日立システムズグループ「CSR報告書2012」を発行

株式会社日立システムズ(代表取締役　取締役社長:髙橋　直也、本社:東京都品川区／以下、日立システムズ)は、日立システムズグループのCSRの取り組みをまとめた「CSR報告書2012」を、本日発行しました。

日立システムズは、常にお客さまに一番近い存在として、ご満足と感動をもたらす新たな価値の創造をめざしています。この実現に向け、日立システムズの企業理念、経営ビジョン、行動指針といったステートメントを従業員が理解し、主体的に行動するための経営モデル「日立システムズ Way」を策定し、従業員への理解・浸透を図っています。そして、この「日立システムズ Way」に則って行動することが日立システムズのCSR活動の基本であると考え、本業を通じた社会的課題の解決に注力しています。
「CSR報告書2012」は、こうしたCSRに関するグループの考え方や取り組み、成果をステークホルダーにご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、日立システムズグループとして初めて発行するものです。

■「CSR報告書2012」編集のポイント

1. 社会的責任に関する国際規格であるISO26000に準拠した取り組みを推進するため、社内にCSR推進プロジェクトを立ち上げ、「CSR3カ年ロードマップ」を策定しました。本報告書には、このロードマップ策定の過程を掲載しました。
2. Webサイトでは、CSRの観点から取り組んでいる施策や携わっている従業員を、設計・運用といった業務プロセスごとに紹介するとともに、お客さまやパートナー企業担当者などの声を掲載しました。
3. 東日本大震災を踏まえ、「災害対策の強化にITができること」をテーマに実施した学生参加型のキャンペーンとステークホルダーダイアログの内容を掲載しました。これにより、BCPや被災地復興の観点から、ITの役割を模索・再認識しました。
4. 人財、組織のグローバル化を支える体系的な人財育成プログラムを掲載しました。(「全社教育」、「選抜教育」、「自己啓発支援」の3軸からなるプログラムにより、中長期的なキャリア形成を支援するもの)
5. 雇用の創出による中長期的な被災地復興を視野に入れ、2012年4月に福島県郡山市に新設した「郡山コンタクトセンター」を掲載しました。同センターの業務内容や今後の事業計画、そこで働く従業員の思いなどを紹介しています。

日立システムズグループは、今後も社会的な課題に積極的に取り組み、人とITのチカラを通じてステークホルダーの皆さまとともに新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株式会社 日立システムズ
〒141-8672東京都品川区大崎1-2-1
Tel. 03-5435-5002
www.hitachi-systems.com

Human * IT

■「CSR 報告書 2012」

CSR報告書

CSR　Webサイト

■「CSR 報告書 2012」Web サイト

http://www.hitachi-systems.com/csr/

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ　CSR 本部　コーポレート・コミュニケーション部　松林、杉山
〒141-8672　東京都品川区大崎一丁目 2　番 1　号
TEL：03-5435-5002(直通)　E-mail：　press.we@hitachi-systems.com

以上

＊記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。